

## 白石市白峰会との交流登山に参加して

### 一日目 栗駒山（須川岳） 1627m

一日目：平成 27 年 10 月 11 日（日）  
参加者：登別山岳会 19 名、白峰会 9 名  
行程：7：00 須川温泉 8：05～8：15 昭和湖  
9：05 コル 9：30～9：40 栗駒山山頂  
9：55 コル 10：40～10：55 昭和湖  
11：40 須川温泉  
登り 2 時間 30 分 下り 2 時間

### 二日目 七時雨山 1063m

二日目：平成 27 年 10 月 12 日（月）  
参加者：登別山岳会 19 名  
行程：9：20 旧街道の流霞道登山道入口  
10：30 南峰 10：50 七時雨山頂上  
11：50～12：10 三合目キャベツ畑昼食  
12：40 田代平牧場 P  
13：00 七時雨山荘  
登り 1 時間 30 分 下り 2 時間（昼食含む）

10 月 9 日（金）16 時 30 分、幌別駅西口に集合して苫小牧の西港フェリーターミナルに向かった。名古屋行き 19 時出航のフェリーに 1 時間前に乗った。一等の船室は初めてで 5 人が入っても部屋は結構広かった。さっそく、酒とつまみを出し北アルプスの話を肴にして宴会が始まる。消灯は次の日に 2 時の予定だったが、酒がうまかったのか、強かったのか 10 時に消灯してしまった。

10 月 10 日（土）5 時に起床。すぐに、風呂に入り酒臭い体を洗い流しさっぱりした後朝食とコーヒーをいただいた。時間があるので船内を散歩。遠くの景色を楽しんでいるうちに仙台港に 10 時に着くとすでに十和田山岳会の田原さんのバスが到着してすぐに乗りこむことができた。



毛越寺



寺内庭園を散歩

途中一関により世界遺産の毛越寺見学をすることになった。私はこの寺の世界遺産の中身については勉強不足で良く分らないが紅葉が始まってきた寺院と池を従えた庭園がとても素晴らしかった。

15 時頃、真湯温泉のコテージに着き、4 棟に分かれた。女性はすぐに今夜の交流会の調理に取り掛かり（ありがとうございます）、男性は温泉に行く人、部屋で山の用意をする人、酒も酌み交わしている人それぞれ時間を過ごしていると、白峰会の方がコテージの前で見かけたのであいさつを交わしました。18 時、交流会が始まり、白峰会より頂いた酒と女性会員が調理した料理を頂きながら、明日の栗駒山、来年の北海道の登る山など話の花が咲きました。

さておき、美味しい地酒と手作りの料理を平らげ、明日の登山のため 22 時に消灯しました。



白峰会との懇親会

10 月 11 日（日）4 時 15 分起床、朝食を食べ 5 時 50 分出発。6 時 25 分須川温泉に到着、白峰会の 9 名の出迎いを受け、雨模様の中を 3 班のグループに分かれ温泉を出発。ピークは過ぎたとはいえ、まだまだ、素晴らしい紅葉を楽しみながらの登山、周りも靄がかかり遠くは見えないが噴気孔や白濁した川や昭和湖、硫酸性のガス、草紅葉など目を楽しませてくれた。



紅葉の登山道と昭和湖

コルを過ぎる辺りから雨や風が強くなり霧で前方の天狗岩はかすんで見えた。それでも有数の名山だけあってけっこう登山者と行きあうのでさみしくはない。頂上に着き記念写真をとったが雨でピントが合わない。白峰会が地酒蔵王を頂上まで持ち上げていて、その酒で乾杯をした。（ちよっぴりだけど、頂上で飲

む酒は格別なものがある)



風と冷たい雨、早々に下山した。下がるにつれだんだん下界が見えるようになり、今、来た登山道と周りの紅葉の素晴らしさに見て嬉しくなった。下山後、白峰会の人に見送られながら、来年は北海道で会うことを約束し別れました。

12時20分須川温泉を出て、車中から今、真盛りの紅葉を楽しんで13時頃、真湯温泉に到着しました。夕食までの間、汚れた雨具や靴など洗い、乾燥。温泉で冷めた体を温め、早くから飲み始める。17時頃の夕食時にはできあげって爆睡している会員もいました。女性会員が調理をしたチラシ寿司・地元でとれた魚の甘露煮など美味しく頂きました。酒を酌み交わしながら、これからの山行の話をしているうちにあっという間に時間が過ぎ寝た時間が定かでないが眠りについた。(たぶん21時頃とおもう)

10月12日(月)4時起床、4時30分、朝食の焼きおにぎりを食べ、コテージを掃除した後5時50分、出発。高速道路で北上今日の山七時雨山をめざす。安代ICで降りた。当初、同じ登山道に戻ってくる予定が運転手の計らいで南峰、本峰を縦走できおまけに時間が短縮できるコース(旧街道の流霞道と同じ道を通り頂上付近で別れている登山道)の入口に案内して頂いた

登山道を小雨と霧の中、藪をかき分け(先頭のリーダー、びしょ濡れだと思ふ。申し訳ない)本峰より高い南峰に着くが意外と険しい道だった。周りは霧の中、何も見えないのですぐに歩きだす、けっこう下るおまけに滑るし藪だしそうこうしているうちに本峰につく。雨だというのに登ってきている登山者もいた。霧の中、すぐに写真をとり行動食を口にした。



登山道入り口と七時雨山山頂

下山は紅葉が綺麗だったので歩くのは苦にならなかった。晴れているともっと素晴らしかっただろうなと思いつつ歩いているとぽあっと視界が開け一面キャベツ畑の三合目、キャベツ畑を見ながら昼食、後ろから見ていると農作業中の昼休みを想像した。



牛の放牧地を牛糞に気を付けながら抜け駐車場に。まだ、車が来ていない。慌てて電話、電波が届かない、よく考えて見たら、朝、車の走行中に田原さんが言っていた場所と違うのに気が付き約束していた七時雨山荘に向かって舗装道路を20分ほど歩く。車が待っていて一安心。バスに乗り込み、14時頃、奥中山高原温泉に到着。入浴と荷物の整理をし、さっぱりしたからだになって一般国道を北上、18時過ぎ八戸フェリーターミナルに着いた。車との別れに田原さんの運転に感謝し中にはいった。時間がたつぷりとあったので途中で購入した弁当をいただいた。二階に食堂があるようなので会員が偵察に行ったので聞いてみると「そばを食べてきた、とても美味しかったよ」と。夕食を食べたばかりなのにつられて私を含め他の会員もあがってたべてしまった。あっさりしておいしく、口の中がさっぱりした(食べ過ぎ)。時間も過ぎ21時乗船20時出航。狭い2人用個室の中で5人ほど入り遅くまで酒を酌み交わし、自分の船室に戻り消灯。

10月13日(火)6時、起きて間もなく苫小牧港にフェリーが着岸。みんなと別れ、それぞれの車に乗り解散した。

今回、計画されたリーダー、会計、料理を作って頂いた方、とても楽しい山行になりました。ありがとうございました。

記録 渡 邊